

2025年度 発達支援つむぎ武蔵野ルーム(児童発達支援) スタッフアンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。スタッフアンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.5	
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.5	
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.2	
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.5	
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		引き続き、利用者様、保護者様、スタッフ共に安心して過ごせる場となるよう努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもや保護者、訪問先施設のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.3	
	Q8	支援の内容は、支援目標に沿ったものになっているか。	4.0	
	Q9	支援の開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.3	
	Q10	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.2	
	Q11	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができているか。	4.7	
	Q12	各事業のガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)あるいは保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」を踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4.0	
	Q13	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		毎月ケアカンファレンスを実施し、振り返りと目標設定を行うことで、より適切な支援の提供に努めてまいります。
関係機関や保護者様との連携について	Q14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.8	毎月のケアカンファレンスやグループ支援後のフィードバックを丁寧に行い、「その時、子どもにとって何が必要なのか」を考えながら、共通理解の深化に努めてまいります。
	Q15	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバース等に努めているか。	4.0	
	Q16	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、あるいは就園・就学時の移行などの際には、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.5	就学支援シート等を活用し、情報共有に努めてまいります。
	Q17	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.0	センターと連携を取れるよう、研修会に積極的に参加できるよう調整してまいります。
	Q18	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.5	今後、積極的に参加してまいります。
	Q19	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	4.3	
	Q20	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.0	
	Q21	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		関係機関との連携を密に行い、保護者様にも繋げていけるよう努めてまいります。
保護者様などお子さまへの対応について	Q22	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.5	
	Q23	保護者や訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.3	
	Q24	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.3	
	Q25	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		コミュニケーションを密に取り、適切な支援、相談が行えるよう努めてまいります。
満足度について	Q26	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.7	
	Q27	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		これからもより良い支援が提供できるよう、スタッフ間でのコミュニケーションを大切にし、全ての業務に繋げていけるよう努めてまいります。